

地域密着型サービス自己評価項目

評価項目構成

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

合計

サービス評価に関する(自己評価のみ)

合計

自己評価
項目数

外部評価
項目数

24

14

3

2

3

1

5

4

7

3

6

4

10

2

4

1

6

1

17

6

3

1

3

2

1

1

10

2

38

11

30

9

8

2

89

33

13

102

記入方法

事業所の管理者が介護従業者と協議し、ご記入ください。

「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に「1」を入力し、該当しない場合は「0」を入力してください。サービス評価に関する項目では、選択肢から事業所として該当すると思われる「1」～「4」の数字を入力してください。

自己項目は89項目です。【国87項目+県追加2項目。除くサービス成果項目】
外部評価項目は33項目です。【国30項目+県追加3項目】

「自己評価」は、上部の項目番号が通し番号となっています。
「外部評価」には「外部評価」の表示と下の項目番号が通し番号です。
県の追加項目には「追加」。重点項目には「重点」と項目の横に表示しています。

サービスの成果に関する項目は、13項目です。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。
チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、地域包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームほんわかハウス新館

(ユニット名) グループホームの場合
新館1階

記入者(管理者)

武田 かをる

記入日 2005年5月1日

新館1階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	4	
理念に基づく運営	1	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に関しては、玄関、事務所に貼付し職員全員が理解し実践できるように努めている。また、ミーティング時に理念に基づいたケアの実践方法を学ぶ機会を設けている。	0	
		2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を全職員が理解、共有している。地域に開かれたホーム作りを目指し日々取り組んでいる。	0	
	3	家族や地域への理念の浸透【外部評価】 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	来訪された際に目にして頂けるように玄関前に理念を貼付している。また、利用契約の際や家族会などを通して説明している。	0		
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
	2	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会でのお付き合いの他にも、近隣の方であった際には挨拶をするように努め、入居者の皆さんが作成した作品（刺し子等を）お配りしたりとホームの活動にも理解を深めて頂く努力をしている。	1	今後、近隣の住民の方に参加をして頂けるようなお茶会の開催や、自治会主催の行事において貢献できる活動等、より地域の住民の方達と密接な関係を作り上げていきたい。
		5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所として自治会に属し、ハイキングや運動会、敬老会等の行事や地域清掃等にも積極的に参加している。	1	地域運営推進会議をきっかけに、お互いの要望や意見を交換しより一層、地域住民として地域に貢献していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき 運営	2	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	全職員参加のミーティング時に、「事業所として何が出来るのか」を話し合う機会を設けている。小さいお子さんの見守りや声掛け等出来る事から取り組んでいる。	0	
	3	理念を实践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3	7	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、全職員が外部評価の意義を理解している。評価された項目に関して、良い点も悪い点も真摯に受け止め改善、また向上を目指し取り組んでいる。	0	
		8	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		1	運営推進会議を思うように開催する事が出来ておらず、第1回目を平成19年5月15日に開催予定。参加メンバー：自治会役員3名・老人会役員1名・民生委員1名・ご家族2名・職員4名。
		9	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		1	第1回目の運営推進会議の開催を機に取り組みを検討していきたい。
		10	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現状、左記の制度・事業を必要とする入居者さんはおられないが、制度の使用が必要になった際にいつでも活用できるよう学ぶ機会を作っており、しっかりと理解できるように努めている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員参加のミーティング等で話し合う機会を持ち、事業所内で虐待が起こらぬよう防止に努めている。また、虐待が職員のストレスから来る恐れもある為、職員のストレス解消法なども検討し学んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づきく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約には十分な時間をかけ、利用者、ご家族の不安を取り除き理解、納得して頂いている。また契約後に疑問点や不安な点があった場合にもその都度対応させて頂いている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんからの意見や不満があった場合には、ミーティングやケアカンファレンス等で議題として持ち寄り、極力、利用者さんの意見、意向を日々の生活に反映出来るよう努めている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族会や来訪時に、個々に合わせ報告を行っている。また月に1回、生活の様子が分かる写真付きの手紙をお送りしている。金銭管理に関しては必要に応じその都度報告させて頂いている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族から頂いた意見、不満、要望に関しては全職員が共有できるようにし、改善、向上に努めている。また法人内にも相談窓口を設置している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全職員が参加する会議の場や、必要に応じて個別に意見を聞く機会を設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成の前にあらかじめ勤務希望(休み)を聞き、極力職員の生活の状況と希望に応えられるようにしている。また、病気、冠婚葬祭等急な変更にも対応できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 の 実 体 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職や異動希望等が無い限りは職員の異動は行っていない。また離職を必要最小限に抑えられるよう、管理者やリーダーと共に職員とのコミュニケーションを図っている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用にあたっての選別等は行っていない。事業所で働く職員に関しては、個性や向き不向き、個人の能力を理解し、長所を伸ばせるような指導、支援を行っている。また職員個々の意見が言い易い環境づくりに努めている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育、啓発を学ぶ場として、全職員参加のミーティングを活用したり、地域で行われている勉強会に参加している。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用されてから実務に取り掛かる前における研修やその後の勉強会、研修会、OJTを通して職員育成に努めている。また職員の適正に合わせ外部研修に参加させている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県高齢者G・H協のブロック間で持ち回りで勉強会や意見交換会などを行っている。また今後、各ホーム間での交換研修等も予定しており、サービスの向上を目指している。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間や、休憩所などを工夫し職員が生き抜き出来る場所と時間を作っている。またストレス解消法の勉強会を行ったり、食事をする機会等を設けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	夏季、冬季の賞与に関しては査定制度にしており、法人側からの一方的な評価だけでなく、職員による自己評価を行い評価を反映している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	6	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	1	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	居室におられる際や入浴時など、ご本人の本音が言える時間、機会を作り受け止めている。受け止めた要望、不安に関しては全職員が共有できるようにし、ケアプランに反映できるよう努力している。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族来訪時に個別に要望や意見等を伺える機会を作っている。またケアプラン作成、更新の際には、その状況にあったご家族の意見、要望をお聞きし反映できるよう努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた職員、管理者だけが問題解決に取り組むのではなく、ミーティングやケアカンファの際に全職員で共有し、ニーズにあった支援、対応が出来るよう努めている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	隣に座り、入居者さん同士の話の掛け渡しを行い、徐々に場の雰囲気に馴染んでもらう。また、生活の中で本人が必要とする物をその都度揃えていく。	1	体験入居を取り入れる。
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	5	
	係り2 と 新 た な 関 係 づ く り の 支 援	29 外 部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフの悩みの相談にのってもらったり、同じ事を一緒に行うなかで、時間・思いを共有する。	1	個別でコミュニケーションをとれる時間を増やす。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月の家族へのお便りや、来訪された際に現状報告を行う等、こまめに連絡を取り、その都度家族の要望等を聞くようにしている。	1	話し掛けやすい雰囲気をつくる。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、家族とよく話をし、アセスメントと行い理解を深め、双方にとって良い方法を模索し、より良い関係が築ける様に努めている。	1	アセスメントをしっかりと行う。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の意向により難しい面もあるが、馴染みの場所等にお連れしたり、可能であれば電話で話してもらう。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ぶつかり合わない様に、入居者同士の相性を見極め、状況に合ったものを提供する。また、お茶菓子作りや調理を通じて他の方との関りを深め、スタッフが間に入り話の橋渡しを行う。	1	入居者同士のぶつかり合いが見られたときは、作業を分担したり、別々の場所で作業ができるようにするなど、ハウスの構造を利用する。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に転居される際は、情報の提供を行い、転居後も必要な情報は提供し協力する。	1	面会に行ったり、手紙を書く。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	7	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	2	
1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		話し合いの中などで、本人が何を望んでいるかを聞き出し、ケアに生かす様に努めている。意思表示が困難な方に対しては、日頃の行動・言動を踏まえ、スタッフで話し合い本人にとって良いケアを模索している。	1	自分の希望、考え等何でも話せる信頼関係を築く。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報収集、本人の行動や癖からの模索、会話の中から生活歴等を聞き出している。	1	家族が来訪された際、スタッフ側から積極的に話しかけ情報収集をする。また、じっくり話のできる機会をつくる。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎月1回、スタッフ全員でカンファレンスを行っている。また、生活記録の活用、細かな様子観察やスタッフ間での確実な申し送り、ミーティングでの情報交換等で、現状把握に努めスタッフ間で情報を共有している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当スタッフが家族、本人との話し合いに基づいた介護計画を作成し、カンファレンスを行い、ミーティングの時等に他のスタッフの意見を聞き再度、計画を立案する。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期限に応じて評価、見直しを行い、出来なかった事に対しては、新しい対応方法を考える。また、その都度状態に変化があった場合は見直しを行い、介護計画を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人記録に残している。また、ケアプランチェック表を活用している。	1	ケアプランに基づいた記録を残すようにする。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)		自己評価1項目・外部評価1項目	0	
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族から付き添いの要望があった場合は、スタッフを確保して対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事（運動会等）に参加している。	1	定期的に地域推進委員会議を開催し、地域ぐるみで協力しながら支援していける体制をつくる。また、地域の行事に積極的に参加する。
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている		1	体制作りに努める。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		1	体制作りに努める。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を大切に、納得が得られた医療機関を利用されている。また、身体状況の変化をその都度ドクターに報告し、急変時に対応してもらえる様にしている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要な時は、専門のドクターに相談している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携日報を活用している。また、分からないことや、体調の面で不安なことがある時は、その都度相談をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	主治医・家族・スタッフ・病院関係で、退院に向けての話し合いを行っている。また、入院された際にはお見舞いに行っている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方については、重度化した場合の対応を入居時に家族に記入してもらい、スタッフ全員が方針を把握している。また、どのように終末期を迎えたいかを、本人からは聞き出せてはいない。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている		1	必要に応じて訪問看護の利用を考え、ターミナルを迎えた時、事業所で「できる事、できない事」を話し合い、スタッフ間で統一した認識をもっておく。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	なぜそこで生活するのかを、本人に合った内容で統一した説明を行っている。また、本人が慣れるまでは、家族に協力をお願いし、できるだけ情報を提供している。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	11	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	その時々状況や理解度に応じて、声掛けや対応を行っている。相談事は自室にて傾聴している。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	食事のメニューの希望をきいたり、起床時の洋服の選択はご自身で行っている(自己決定や選択の難しい方には、二択にしたり、簡単な言葉に変えて聞くなど工夫している)本人が何をしたいのかを引き出し、実行できるようスタッフ間で連携している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールを決めず、その日の入居者の方の希望でその時やりたい事を実行している。また、入浴時間は入居者さんの状況で希望に添えない時もあるが、極力希望に添うように努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	3	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	普段の着替えや出掛ける際などは自分で洋服を選んでもらい、出来ない部分はスタッフで支援している。理容・美容院に関しては基本的には希望される店を利用してもらうが、事情により行けない時は、月1回の訪問理容を利用している。	1	近くの美容室に、認知症を理解してもらえるように働きかけ、安心して気軽に利用できる環境づくりを行う。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューには季節の感じられる食材を取り入れ、食材選びから調理までを一緒に行っている。後片付けは個人の馴染みの方法で洗ってもらい、衛生面から洗い直しが必要な場合はスタッフで行っている。	1	入居者の方が自然に取り組めるように、調理器具等をセッティングしておく。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食の好みを把握し、メニューに苦手な物がある場合は別の物を提供している。又、コーヒーやお菓子等、好みの物を常備している。お酒を飲まれる方は、Dr.と家族の了解を得て、外食や行事等の機会に飲んでもらっている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を基にDr.と連携し、排泄コントロールを行っている。又、その方に適したパット等を使用し、変化の合った時はその都度スタッフで話し合い対応している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴の声掛けを行い、希望される時間に入浴してもらっているが、状況により、時間を変更してもらうことがある。又、別の日に入りたいと言われた際は、希望日の勤務者に申し送りをしている。	1	浴槽へ安心して出入りできるような介助器具の充実を図る。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	状況に応じて話を聞いたり、コーヒーやホットミルクを提供し、安心して穏やかに休息出来るように支援している。又、個人に合わせ室温を調節すると共に、ひざ掛けやクッション等も利用している。シーツが汚れた際は、その都度清潔なものに交換している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の得意分野を把握し、考慮したうえで作業の準備を行い、役割分担をし、入居者の方と一緒にやっている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の理解の下、本人の希望に添えるように支援し、必要なものは一緒に買いに行っている。所持金額が高額な場合等は、本人、家族、スタッフで話し合いの上、必要に応じて保管させて頂いている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩、近くのお地蔵様にお参りに行ったり、天気の良い日は玄関先で日光浴をしている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	食事会を計画し外食したり、ドライブ等で外出している。又、本人が望む場所に個別で外出し対応している。	1	家族も一緒に参加してもらえるような働きかけを行う。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望がある場合は応じており、本人が掛けられない場合はスタッフでダイヤルし電話を代わっている。家族の諸事情で電話を掛けられない場合は、家族との話し合いで対応方法を決めている。	1	本人と一緒に手紙を書き送る。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	各居室に本人のアルバムを置き、自由に見てもらえるようにしている。廊下には自由に座れるソファや椅子を設置し、話が出来るように配慮している。来訪時には笑顔で挨拶し歓迎している。	1	家族・知人がいつ来られても不快な思いをしないように、居室を整理整頓しておく。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	3	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は一切行っていないが、言葉による拘束等が行われないよう職員間で意識し、拘束をしないケアに取り組んでいる。	1	介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為についての知識を習得する為勉強会を開催する。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関を開錠している。10:30~16:00	1	開錠している時間を、多く出来るよう、職員の勤務体制も含めたケアの取り組みを行ってきたい。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者の方の居る場所を把握し、異変があった場合にも直ぐに対応できる場所で見守りを行っている。又、各居室のドアに小さな小窓を設け、巡視を行っている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所を統一し、注意の必要な物はカーテンで隠したり、手の届かない場所で保管する等して管理している。	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	月に1回の勉強会にてリスクマネジメントについてを学びまたケアカンファレンスにおいて情報を共有し事故防止に取り組んでいる。誤薬防止の為、服薬時は、名前・日付・時間を確認してから渡し、飲み込まれるまで見守っている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会においての知識の習得及び救命士による救命救急講習の受講。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署指導の下、避難訓練を年2回実施している。(1回は立会い)	1	避難訓練の際は近隣住民にも声を掛け参加してもらう。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族来訪時には現状を報告し、できるだけ具体的な話し合いをもつように努めている。また来訪抱きないご家族に対しては手紙、電話等で報告しリスク軽減に努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	2	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日起床時にバイタルチェックをする。体調に変化の見られたときは、その都度かかりつけのDr.に連絡し情報を提供し支持を仰いでいる。又、必ず記録に残し申し送りを行っている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人カルテに薬の作用、服薬情報を記入し、薬の変更、量の増減があった場合は新たに記入し、服薬後の変化に注意している。変化の見られた場合は即座にDr.に連絡し、指示を仰ぎ対応している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘傾向にある方には毎朝牛乳を提供し、メニューにもヨーグルトや食物繊維の多い食材を取り入れている。又、排泄チェック表を基に、個人の排泄リズムを把握し、Dr.と連携し対応している。	1	便秘予防の体操、散歩等を取り入れていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医からの指導の下、自分でできる事はして頂き、磨き残しや出来ない部分に関してはスタッフが支援している。	0		
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表を基に摂取量が不足している時は捕食を提供し補っている。個人に合わせ、居室でお茶が飲めるように水筒等を置いている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	勉強会、研修への参加を積極的に行い、適切な対応を把握している。必要最低限の予防着や道具等を、必要な時直ぐに使用できるように準備している。又、スタッフ一人ひとりも予防に取り組んでいる。	1	感染症一つ一つに対する正しい知識を習得する。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品は必要最低限を購入し、使用する際は開封日、処分日を記入している。生物は必ず湯通しをして使用している。魚・肉類の調理時は使い捨てのまな板を使用し、調理器具・ふきんはハイター消毒を行っている。又、食器・調理器具は全て乾燥機にかけている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価5項目・外部評価2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周辺・玄関周りに花壇を作り、花を植えたり野菜を育てており開放的な空間作りをしている。玄関はバリアフリーになっており、中や外にはベンチを設置している。	0		
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや居室に季節を感じられる花や物・カレンダー等を飾っている。カーテンを2重にし使い分けることで光を調節している。インターホンは静かなメロディーが流れるように設定している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や廊下に、自由に使えるソファやベンチ・椅子を設置している。リビングでは座席配置を行い、個人にあった形状の椅子、クッション等を利用して調節をしている。又、食事以外では、リビングでの座席配置を気にせず好きな場所に座ってもらっている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族と相談しながら、馴染みの家具等を持ち込み配置したり、本人の希望する寝具(ベッド・布団)で休んでもらっている。又、フローリングに畳を敷いたり、柵を設置したりと、出来るだけ希望に添えるようにしている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中、居室やリビングは必ず窓を開け、毎日換気をしている。日中・夜間通してこまめな室温確認、室温調整を行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人の身体機能に合わせ、家具を設置している。タイプの違うトイレを3箇所設け、個人にあったものを使用して頂いている。リビングや廊下の家具の配置は、入居者の導線を考慮し安全に過ごせるように配置している。又、廊下など必要な場所に手摺を設置している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の入口、トイレのドアや風呂場等に表札やのれんをかけて分かりやすくしている。目立つ場所、見やすい場所に時計やカレンダーを設置している。衣類等の個人の物には名前の記入やマークをつけ、判別しやすくしている。できる事できない事を見極めた上で支援を行っている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周り、ベランダ等に植えられた花や野菜を見ながら、天気の良い日等に外のベンチで日光浴を行っている。ベランダの物干し台の高さは入居者さんに合わせ設置されており、入居者さんが進んで活動できるような環境整備に努めている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する数字を右該当番号欄へ入力)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの 成果に 関する 項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが 広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	3	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足してい ると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。